

【山 域】 越後三山

【ル ー ト】 銀山平→日向倉山→銀山平

【登 山 方 法】 雪山登山

【日程・天気】 2019年5月7日（火）～8日（水）

【参加者】 CL 鈴木（憲） 鈴木（愛）（記録）

【行程】

○5月7日（火）日向倉山に登る前に足慣らしとして六日町の里山の坂戸山に登る。

千葉 5:00⇒関越道 六日町 IC⇒10:10 坂戸山登山口駐車場 10:30→11:30 坂戸山頂上 11:55→

周回コースを下山→12:30 坂戸山登山口駐車場 13:05⇒日帰り温泉 ゆーパーク薬師⇒

響きの森公園内にある「子育ての駅かたくり」の駐車場で車中泊

○5月8日（水）

響きの森公園駐車場 3:45 発⇒3:50 近くのセブンイレブンで朝食 4:10⇒奥只見シルバーライン⇒

5:00 銀山平の日光橋手前の道路際に駐車する 6:00 登山開始→日光橋近くの作業小屋の様なコンク

リートの建屋の脇の斜面から取り付いて登る。→7:35 赤崩山と日向倉山稜線の分岐の少し手前で

ヤブをこぎ、稜線の分岐に出る。→10:10 日向倉山頂上 10:40→往路を下山→稜線から尾根に下る

赤崩山との分岐 12:20→駐車地点に 14:00 着

【内容】

今年度最後の残雪登山に奥只見の日向倉山に行ってきた。

当初の計画は石川県の笈ヶ岳の予定であったが、登山口への道路（白山ホワイトロード）が崩落箇所があり、車両通行止め、歩行も禁止で、開通は6月初旬？との事で、笈ヶ岳は中止して日向倉山に変更した。

○5月7日（火） 天気 晴れ時々曇り

日向倉山に登る前に足慣らしとして六日町の里山の坂戸山（標高 634m）に登る。

登山口から山頂まで往復 2 時間の歩行時間である。

地元の人々がトレーニングに多く登っていた。

ミツバツツジ、イワカガミ、ミヤマイカリソウ、ショウジョウバカマ、タムシバ、カタクリ等々が咲いていて綺麗であった。山頂からは、金城山、八海山、駒ヶ岳、中の岳等々が見え、素晴らしい眺望であった。



坂戸山山頂のカタクリ



ミヤマイカリソウ

○5月8日（水） 天気 快晴

日向倉山は、「やぶ山で登山適期は3月中旬～4月中旬である」と本で見た。5月8日では、残雪が少なく登れるか心配であったが、駐車地点の日光橋手前から登る尾根を見ると、どうにか稜線まで残雪がつながっていたので登山を開始することにした。

夕べから今朝にかけて冷え込み、雨具上下を着て、雪面もクラフトしていたのでアイゼンを付けて駐車地点を6時に出発した。作業小屋の様なコンクリートの建屋のわきの急斜面から取り着いて登る。雪が固く凍っていてアイゼンがしっかりきき、気持ち良い。最初から急登。きつい。30分位したら、尾根に出た。尾根に出てから赤崩山と日向倉山への分岐地点までずーっと物凄い急坂。あえぎながら登る。分岐の手前が少し雪がついていなくて、ヤブをこいで分岐に出た。雪を沢山つけた中の岳、駒ヶ岳、荒沢岳がより大きく見え、北アルプスにも劣らない美しさに感動する。荒沢岳の雪がついている部分と雪のついていない黒い岩の部分のコントラストが格好いい。大きく羽を広げた鷲の様である。



取り付いて間もないころの尾根



歩き始めて1時間の頃

予定では先に赤崩山に行く計画であったが、帰りに赤崩山に行こうと話し合い、先に日向倉山を目指す。最初の小さいなだらかなピークの所で、熊の新しい足跡を発見。今朝の足跡に見えた。それを見てから、ストックにつけてある鈴をより一層よく振るようにして歩を進めた。

いくつかのアップダウンを繰り返して、1277mピークに着いた時、雪が解けてなくなってヤブの状態になっていた。南面の雪のついていない所は、その先が崩落していて進めない。ストックをしまいヤブを登り北側に下り、そこからヤブ寄りの木の枝をつかまりながら、雪の急斜面をトラバースして登り、崩落部分を迂回して稜線に上がった。そのヤブが深くとても難儀し、きつかった。ヤブの中にイワウチワとカタクリが咲いていて励まされる。稜線に出てからは、北側がスパッと切れていて急斜面だったので、ピッケルとストック1本で一歩一歩慎重に歩を進めた。



分岐から見た中の岳



分岐から見た駒ヶ岳



頂上から見えた荒沢岳

頂上着 10:10。標識もなく GPS で頂上と判断する。360 度の眺望。素晴らしい眺めであった。荒沢岳、中の岳、駒ヶ岳、未丈ヶ岳、守門岳、浅草岳、会津駒ヶ岳、燧ヶ岳等々が見え、その美しさに感動する。あまりにも素晴らしい眺めで、頂上で 30 分も休憩してしまった。



日向倉山山頂にて

日向倉山山頂にて

下山は往路を辿る。いくつかのアップダウンの登りのきつい苦しい時、ずーっと荒沢岳、中の岳、駒ヶ岳、未丈ヶ岳等の山々が綺麗に見えていて元気をもらえた。

赤崩山と日向倉山の分岐で、夫と赤崩山に行くかどうか話し合う。朝からずーっとアイゼンを付けっぱなしで二人とも疲れ気味で、最後の急な尾根の下りに余力を残す為には、赤崩山には行かないにしようとする。

分岐から駐車地点に向かう時の尾根の雪の斜面が、ものすごい急坂で怖い。滑落したら一巻の終わりである。途中で止めてくれるような木は一本もない。ストック 1 本とピッケルを使い、しっかりステップを作りながら、3 点確保で一歩一歩滑落しないように慎重に下りた。物凄く緊張し、この尾根を下りることにとっても時間がかかってしまった。そして駐車地点着 14:00。ほっとする。

日帰り温泉「見晴らしの湯」で汗を流す。お風呂から、三つの山が綺麗に見え、その山の名前を従業員の方に聞いたら、「左から八海山、中の岳、駒ヶ岳で、八海山の【は】、中の岳の【な】、駒ヶ岳の【こ】で左から【は】【な】【こ】というように覚えると良いですよ」と教えてくれた。なるほどこれは忘れないと思った。

温泉でいい気持ちになり帰路についた。20:00 頃帰葉。

○今回の山行を終えての感想

連休に行く予定であった唐松岳が天候が悪く中止となりました。その後行く予定であった石川県の笈ヶ岳も登山口までの道路が開通してなくて中止となりました。それならば夫の行きたい日向倉山に行こうという事になりました。私は夫に聞くまで、日向倉山の山名も聞いたことがなかったし、どこにある山なのかも分かりませんでした。行ってみたら稜線を歩いている時、荒沢岳、中の岳、駒ヶ岳、未丈ヶ岳、浅草岳等々の素晴らしい景色をずーっと眺めながら歩け、良いコースだなと思いました。

ちば山の皆さんで、日向倉山に行ってみたい方は、登山適期が3月中旬から4月中旬と、本に書いてあったので、その期間に行く事をお勧めします。そしたらヤブにあって難儀することもないと思います。標識も赤テープも何もないので、GPS 持参で行く事をお勧めします。

私達は予定では、「道の駅 ゆのたに深雪の里」で車中泊する予定でした。でも変更して、小出 IC を出てすぐ近くの「響きの森公園内の、「子育ての駅かたくり」の駐車場で車中泊しました。そこは24時間人感の電気がつくトイレがあり、車中泊の車も少なく、良かったです。車中泊にお勧めです。何年か前に守門岳に行った時、「道の駅 ゆのたに深雪の里」で車中泊したのですが、トラックが沢山いて、夜どうしエンジンをかけていて、うるさくて眠れなかったのです。そこより「響きの森公園内の、「子育ての駅かたくり」の駐車場の方がずっと良いです。

朝6時から登山終了の14時までずーっとアイゼンを付けっぱなしで、足が疲れ、ヤブこぎがあつたり、最後の物凄い急坂の雪面の下りの緊張した場面があつたりして、大変でしたが、残雪の山歩きをたっぷり楽しめ、充実感一杯の山旅でした。